

公開シンポジウム

主催：法政大学言語・文化センター

協賛：法政大学文学部哲学科

《夜》を描く画家たち — 実存の奥底から



市ヶ谷キャンパス

日時：2023年11月12日(日)13時開場、13時半開演—17時半終了

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス、ポアソナード・タワー26階スカイホール

発表者：酒井健(法政大学文学部教授)

「ラスコーの伝言 — ジョルジュ・パタイユから岡本太郎へ」

木村拓也(大田区立龍子記念館学芸員)

「日本画家・川端龍子の描く《夜》と《実存》」

大池惣太郎(明治学院大学文学部准教授)

「〈見るべき何かはイメージなきもの〉 — パスカル・キニャールと『はじまりの夜』」

参加費：無料

要予約：右記のQRコードあるいは下記のURLから予約をお願いします

<https://docs.google.com/forms/d/1nqjafqzLH1Ebuu3jYXUCLWHkUTOLkxJ7NxcXx41rwU>

連絡先：法政大学言語・文化センター TEL03-3264-4742

